

富山県

原子力防災 通信 その18

いざという時のために…



この情報誌では、
富山県の
原子力防災に対する
取り組みを
ご紹介します。



富山県

▶ 地震による道路の寸断を 想定した複合災害対応訓練

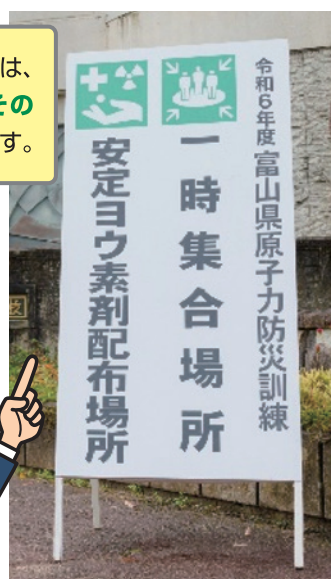
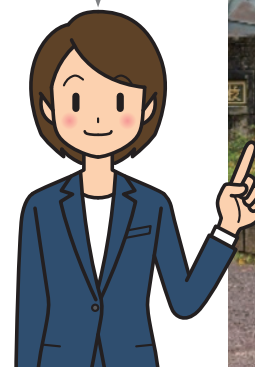
地震により、道路が寸断し孤立集落が発生したとの想定で、自衛隊にヘリの派遣要請を行い、空路で避難する訓練を初めて実施しました。



自衛隊のヘリを活用した複合災害対応訓練

一時集合場所や避難退域時検査場所、避難所に原子力防災ピクトグラムを用いた看板も設置しました！

ピクトグラムについては、
原子力防災通信「その17」で紹介しています。



▶ 避難退域時検査の 受援訓練

避難退域時検査では、あらゆる状況を想定し、他県からの支援を受けて検査を実施する訓練を初めて実施しました。鳥取県から車両検査に用いる車両用ゲート型モニタの借用及び機器操作要員の派遣を受けました。



鳥取県の支援を受けた避難退域時検査訓練

▶ 原子力災害対策本部等の 設置運営訓練

防災危機管理センターにおいて、映像情報システム等の設備を活用した図上訓練を実施しました。道路の通行止めや避難所の被災等を想定し、関係機関と協議の上、避難ルート決定などを行いました。



情報を集約し対応する図上訓練

富山県危機管理局 防災・危機管理課

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 防災危機管理センター4階

TEL:076-444-3118 FAX:076-432-0657

令和6年11月24日(日) 令和6年度富山県原子力防災訓練を実施しました。

今年度は、令和6年能登半島地震で得られた教訓や課題等を訓練内容に反映し、氷見市UPZ内全域を対象とした屋内退避訓練を実施するとともに、速川地区、久目地区を対象とした一時移転訓練を実施しました。ご協力ありがとうございました。



1 屋内退避

放射線による被ばくを回避・低減する防護措置です。

- 氷見市UPZ内全域に、防災行政無線や広報車、防災ラジオ、氷見市公式LINE等を用いて、屋内退避の実施を呼びかけました。
- 今年度は、自宅で屋内退避ができない状況を想定し、**一時集合場所での屋内退避訓練**を新たに試みました。
- 屋内退避の方法（窓を閉める、目張りをする、換気を止める等、外気を遮断）を確認しました。
- 屋内退避動画の視聴や避難計画に関する講習も実施しました。



一時集合場所での屋内退避訓練



屋内退避に関する講習

2 一時集合場所への集合 安定ヨウ素剤の配布

近隣の小中学校や公民館等に集合し、安定ヨウ素剤を受け取ります。

- 一時移転の指示を受け、自宅で屋内退避を実施した住民の皆さんにも、近隣の一時集合場所にお集まりいただきました。
- 体内（甲状腺）への放射性ヨウ素の取り込みを減らす安定ヨウ素剤について薬剤師から説明を行い、訓練では飴玉を配りました。
- 体育館での集合配布のほか、旧速川小学校では、自家用車から降りないドライブスルー方式での配布も実施しました。



旧久目小学校での集合配布



旧速川小学校でのドライブスルー方式による配布

3 避難退域時検査（車両検査・住民検査）

車両や身体に放射性物質がついていないかを確認します。

- 住民の皆さんには、バスや自家用車で会場に移動いただき、避難退域時検査を実施しました。
- 避難車両や身体を測定機器を用いて検査し、放射性物質が付着している場合は、拭取りや脱衣による簡易除染を行いました。
- 今年度は、避難計画上の検査場所である仏生寺公民館や赤毛コミュニティセンターが使用不可との想定で、**氷見運動公園**で実施し、車両検査では自家用車約80台、バス6台を検査しました。

車両検査



住民検査



4 広域避難

放射性物質による汚染がないことを確認後、避難所へ移動します。

- 県西部の避難所で受入れが困難な状況を想定し、今年度は、**富山市**の避難所（**鶴坂公民館**）に避難いただきました。
- 県防災士会の協力のもと、段ボールベッドを組み立てる体験や「多様性に配慮した避難所運営」に関する講演を実施しました。



段ボールベッドやパーティションの組立て



県防災士会による講演